



CONTENTS

- 院長 + 副院長挨拶 ●センター長・診療科長のご挨拶と抱負
- 2024年度4月期 新任医長・室長の紹介
- 看護部のご紹介 / NCGM 医療連携の会について

すぎ やま はるひと
杉山 温人
病院長



多くの若い職員とともに NCGM もさらに成長していきます

2024年度が始まり、NCGMでも多くの若い職員を迎え入れました。

彼らは学生時代のほとんどをコロナ禍で過ごし、学生生活のみならず臨床実習にも不自由をきたしていたと思います。これからの社会人生活に多くの不安を抱えていることでしょう。

私たちは彼らを温かく見守り、立派な医療人に育て上げる責務を負っています。

彼らが大きく成長するとともに、NCGMもさらに成長し、1年後に控えた国立感染症研究所との統合、国立健康危機管理研究機構への設立に備えて参ります。

皆様におかれましても、今年1年よろしく願いいたします。

新年度を迎え新任のセンター長、 医長の先生方のご挨拶を中心にお届けします

皆様、こんにちは。この4月に副院長に就任した放生雅章です。昨年度までは呼吸器内科診療科長として、病診連携などで皆様にはお世話になってきましたが、今後は広報担当として皆様により多くの情報をお届けするべく精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。3か月に1号の割合で皆様にお届けしている NCGM PRESS ですが、今号では新年度を迎えたため、新任のセンター長、医長の先生方のご挨拶を中心にお届けします。特に皆様にお世話になる機会の多い救命救急センター、人間ドックセンター、放射線診断部門で新任の部門長が就任しており、是非とも皆様に顔を覚えていただきたく思っています。私たち NCGM の総合力は多くの医師以外のスタッフの協力で成り立っています。今回は感染管理の専門・認定看護師が病棟ラウンドやミーティングに密着してどのような業務をやっているのか取材しました。

ほうじょう まさ ゆき
放生 雅章
副院長

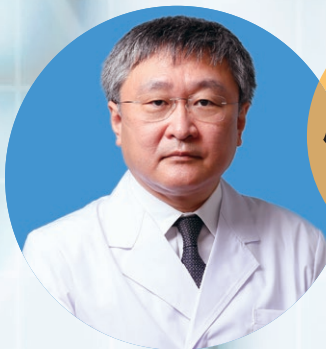


新センター長・診療科長のご挨拶と抱負



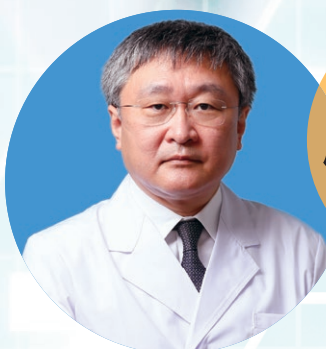
副院長
ほしゅう まさゆき
放生 雅章
専門領域・得意分野/
気管支喘息・
COPDでなかなか
止まらない慢性咳嗽

皆 様、こんにちは。この4月に副院長を拝命した放生雅章です。総務、診療、保険、教育、広報を担当することとなりました。専門は呼吸器内科で、従来病診療などで皆様にはお世話になってきました。今後も皆様により多くのお役立ち情報をお届けし、NCGM、来年度からは国立感染症研究所と統合した新たな機構である国立健康危機管理研究機構 J-IHS (Japan Institute for Health Security) への理解を深めていただけるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



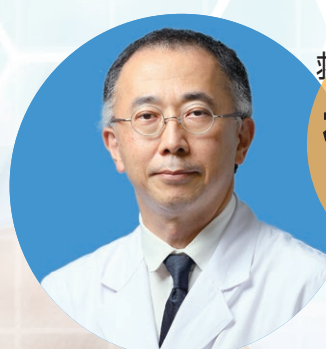
副院長
ひろい ゆきお
廣井 透雄
専門領域・得意分野/
循環器疾患の予防、
早期発見

2 024年4月から副院長を拝命いたしました廣井透雄と申します。研究、医工連携、国際、労務、バイオバンク、人間ドックセンターを担当しております。13年1月から科長として着任し循環器内科の診療、研究、教育を行っております。当院は地域の医療機関からのご紹介に、救急車の受け入れが極めて多く、急性期の診療で安定した後はおかかりつけ、地元の医療機関の先生方との医療連携で、慢性期の診療継続を願います。今後ともよろしくお願いたします。



人間ドック
センター長
ひろい ゆきお
廣井 透雄
専門領域・得意分野/
循環器疾患の予防、
早期発見

当 院の人間ドックセンターは広く、少人数でゆとりとした環境で受診できます。ご希望にお応えしてオプション検査も豊富です。特に大腸ドック、乳がんドック、脳ドック、PEITCT、膵臓ドックなどは人気があります。ドックで異常が疑われる場合に専門の診療科への紹介もスムーズでドックの検査結果は共有され、追加が必要な検査や治療を当院で受けていただく事が容易です。医療関係者の受診も多く、受診者様の高い期待に応えられています。私を含め当院スタッフも毎年受診している者が多数おります。



救命救急センター長
ふくしま けんじ
福島 憲治
専門領域・得意分野/
救急医学、整形外科学、
外傷学、災害医学

救 命救急センターという社会の中でも重要なインフラの責任者に必要な仕事は、継続性と先進性を保つていく体制作りをすることです。この2つの貴重な皆の「柱」をしっかり支えていこうと考えています。それには引き続きいでいく者たちを育てる必要があります。優秀な熱意ある若者達に優良な学びの場を提供することが、激変していく社会においての強固な砦の「質」を高めていくものと考えます。センターに関わる全ての人の力を合わせて、この大切なミッションを乗り切っていこうと考えています。



肝胆膵外科
診療科長
いながき ふゆき
稲垣 冬樹
専門領域/肝胆膵疾患
ヘルニア腹膜疾患
腹部救急疾患
得意分野/集学的治療
先進医療

1 月に肝胆膵外科診療科冬樹と申します。当院の肝胆膵外科では、胆石やヘルニアといった良性疾患から、肝胆膵領域の悪性疾患まで幅広く診療を行っております。また、膵島移植診療科や糖尿病内分泌代謝科と連携して、自家膵島移植や同種膵島移植といった先進的な医療にも取り組んでおります。患者さんの年齢や併存疾患、既往歴なども考慮した上で、安心して手術を受けて頂けるように、努めます。まいります。どうぞよろしくお願いいたします。

放射線診断科科長
わただに たけゆき
渡谷 岳行
専門領域・得意分野/
画像診断全般、
特に腹部領域



放 射線診断科は2024年4月に5名の常勤医師が着任し、新たな体制をスタート致しました。放射線診断科ではCT、MRIをはじめとした画像診断およびリアルタイム画像ガイドのもとで治療や組織の採取を行うインターベンシヨナルラジオロジー（IVR）を担当しています。現代医療に欠かせない画像検査をベースにして精密な診断および治療を提供することで各専門診療科の高度な診療を支え、病院全体がさらに質の高い医療を提供できるようにスタッフ一丸となって努力致します。

国際診療部
部長
ひのはら ちはや
日野原 千速
専門領域・得意分野/
外科、緩和ケア、
外国人診療



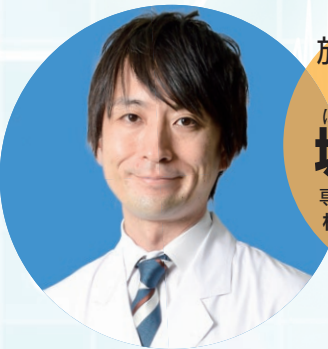
4 月より国際診療部長を拝命いたしました。私は、2001年、当院に研修医として就職したのち、外科、緩和ケア科を経て、国際診療部に所属しています。国際診療部は外国籍患者、病院スタッフの橋渡しとなり、スムーズな診療がなされるよう取り組んでいます。新宿区民の10%以上が外国籍であり、ますます外国籍患者の診療は日常的な方々となり密な連携を取ればと思います。観光客も増え、日常診療とは異なる業務や課題も多く、地域全体で取り組みればと考えております。

糖尿病内分泌代謝科
診療科長
たなべ あきよ
田辺 晶代
専門領域・得意分野/
内分泌代謝疾患全般、
特に副腎ホルモン異常や
副腎腫瘍の診療



2 024年4月から糖尿病内分泌代謝科の診療科長に就任致しました。「内分泌・副腎腫瘍センター」のセンター長を兼任しています。当科では、糖尿病に対しては「糖尿病総合診療センター」として外来・入院での血糖マネージメントのみならず、合併症の診療、コメディカルによる患者教育などを行っております。内分泌疾患は疑い症例の鑑別診断から、診断が確定した症例の治療まで、外科系診療科とも連携して最適な医療を提供しています。地域の先生方と連携しながら診療しております。お気軽にご紹介下さい。

放射線核医学科
診療科長
ほった まさとし
堀田 昌利
専門領域・得意分野/
核医学・PET画像診断、
核医学治療



4 月より放射線核医学科の診療科長を拝命しました。当科では2台のSPECT撮像機器および2台のPET撮像機器に加えて、サイクロトロンを保有しており、日本でも有数の核医学施設といえます。近年、治療と診断を一体化した新しい医療技術であるセラノステイクス^{※1}が急激に注目を集めており、核医学治療はその最たるものにあたります。米留学中にはセラノステイクスの研究にも携わっており、これまでの経験を活かし当科の核医学診療をさらに充実させるべく尽力致します。

がん総合内科
診療科長
しもむら あきひこ
下村 昭彦
専門領域・得意分野/
腫瘍内科、乳がん・
婦人科がん・肉腫・
その他希少がん診療



4 月よりがん総合内科診療科長を拝命いたしました。がん総合内科はがん総合診療センターにおかれた組織で、がん診療が円滑に進むためのサポートを提供しています。免疫チェックポイント阻害剤をサポートするICIチーム、がん治療における腫瘍循環器などが現在の主な活動領域です。がん診療に携わる診療科のみならず、直接がんを診療しないけれども重要なサポートをしていただく診療科の先生方や多職種と連携しながら、NCGMでがん患者さんが安心して治療を受けられる環境を構築していきます。

※1: Theranostics

呼吸器外科

ながの まさあき
長野 匡晃

呼吸器外科／医長
専門：肺がん、縦隔腫瘍
低侵襲手術（胸腔鏡、ロボット）
資格・学会：日本外科学会専門医／日本呼吸器外科学会専門医／気管支鏡専門医／ロボット手術認定医／胸腔鏡安全技術認定医
趣味：バドミントン、美術鑑賞



東京大学医学部附属病院呼吸器外科から異動してきました長野匡晃と申します。大学では、ロボット手術の立ち上げを行い、主に肺がんに関する臨床と研究に従事する一方で、肺移植の診療にも関わってまいりました。丁寧な診療と安全で確実な手術を心がけてまいりますので、肺や縦隔に関するご病気でお困りの際は、お気軽にご相談ください。

New face

2024年

新任 医長・室長の 紹介

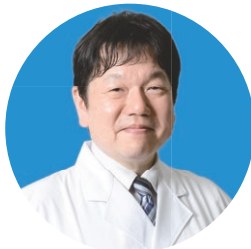
年度も新たになり、新任医師の体制が整いました。患者さんへのご挨拶と抱負を、掲載します。



呼吸器内科

にしむら なおき
西村 直樹

呼吸器内科／医長
専門：呼吸器腫瘍性疾患（肺がんなど）
呼吸不全・呼吸管理
資格・学会：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医／日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医／日本呼吸器学会代議員／日本臨床腫瘍学会協議員
趣味：ドライブ、写真撮影、音楽など



呼吸器腫瘍性疾患（肺がんなど）から呼吸不全患者さんの呼吸管理まで、呼吸器病全般を専門にしています。素晴らしい呼吸器内科の同僚たちと切磋琢磨し、常により良い解が出せるよう精進したいと思います。患者さんにはエビデンスに基づいた治療をわかりやすくお話しすることを大切にしています。

泌尿器科

さとう ゆうじろう
佐藤 雄二郎

泌尿器科／医長
専門：泌尿器科全般
腹腔鏡・ロボット手術
資格・学会：日本泌尿器科学会専門医・指導医／日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会腹腔鏡技術認定医／日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
趣味：登山



4月より着任しました佐藤雄二郎と申します。東京大学医学部附属病院、多摩総合医療センター、日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、同愛記念病院等で臨床経験を積んでまいりました。患者さんに寄り添った治療を心がけ、しっかりとした診療を行うよう努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

脳神経内科

まつだ しゅんいち
松田 俊一

脳神経内科／医長
専門：脳神経内科疾患全般
資格・学会：日本内科学会総合内科専門医・指導医／日本神経学会専門医・指導医／日本臨床神経生理学会専門医／日本医師会認定産業医
趣味：旅行、料理、サイクリング



2024年4月から脳神経内科に着任いたしました松田俊一と申します。これまで急性期病院中心に脳神経内科の診療に携わってまいりました。脳神経内科領域では、治療が難しいとされてきた疾患において、様々な新しい有効な治療が登場しております。最新、最善の医療を提供できるよう精一杯頑張っております。宜しくお願い申し上げます。

心臓血管外科

たむら ともき
田村 智紀

心臓血管外科／医長
専門：心臓血管外科一般
資格・学会：日本外科学会専門医
日本心臓血管外科学会専門医、修練指導医／腹部、胸部ステントグラフト実施医
指導医／下肢静脈瘤血管内治療実施医
臨床研修指導医
趣味：クワガタ、ハワイ



2024年1月に心臓外科医長に着任いたしました。移植、人工心臓以外の全ての心臓血管外科、末梢血管外科の拡大手術から低侵襲手術までを当院で対応できるように尽力いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

糖尿病内分泌代謝科



ぼううち りょうたろう 坊内 良太郎

第一糖尿病科 / 医長
専門：糖尿病、内分泌、肥満症
資格・学会：日本内科学会認定内科医 / 日本糖尿病学会専門医・指導医 / 日本内科学会総合内科専門医・指導医 / 日本内分泌学会専門医・指導医 / 日本肥満学会肥満症専門医・指導医
趣味：釣り

この度第一糖尿病科医長を拝命しました坊内と申します。糖尿病およびその合併症・併存症、内分泌・代謝疾患、肥満症の診療・研究・教育を行ってまいります。糖尿病総合診療センターの活動として糖尿病の医療連携の推進を掲げており、近隣の医療施設の皆様と協力しながら様々な連携強化に取り組む所存です。

輸血室



よこはま やすひさ 横山 泰久

輸血室 / 医長
専門：急性骨髄性白血病、造血幹細胞移植
資格・学会：日本血液学会血液専門医・指導医 / 日本輸血・細胞治療学会認定医 / 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 / 日本再生医療学会再生医療認定医
趣味：食べ歩き

輸血室・血液内科兼任として、NCGMの一員に加えていただき大変光栄です。血液内科医として化学療法・造血幹細胞移植などの高度な治療を行いつつ、血液製剤の適切な管理・安全対策によって各科での円滑な診療を支えられるよう、尽くしてまいります。将来的にはCAR-T療法などの細胞療法を行える体制を整えていきたいと考えています。

救命救急センター



うえむら たつき 植村 樹

救命救急科 / 医長
専門：ECMO、外傷診療
資格・学会：日本救急医学会専門医・指導医 / 日本集中治療医学会専門医
趣味：夏季：キャンプ・登山、冬季：スキー

この度、救命救急科医長を拝命いたしました植村 樹と申します。私はECMO管理や重症外傷管理などに興味を持ち、救急外来・集中治療室での診療・教育・研究に取り組んでまいりました。地域医療のお役に立てるよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

血液浄化療法室



かたぎり だいすけ 片桐 大輔

血液浄化療法室 / 医長
専門：腎臓学、とくに急性腎障害、急性血液浄化療法、アフェシス療法
資格・学会：日本内科学会総合内科専門医 / 日本腎臓学会評議員 / 腎臓専門医 / 指導医 / 日本透析医学会専門医 / 指導医
趣味：マラソン(月200km)など

自身が初期研修・後期研修を過ごしたNCGMに恩返しをしたいという思いで、2018年に3年間の米国留学を終え、当院に着任致しました。以降は腎臓内科に勤務しつつ、臨床、研究、そして教育の3つの柱を全てカバーできる人材になるべく研鑽を積んで来ました。今後も各科と協力しながら、安全な血液浄化療法に取り組んでいきたいと思っています。

エイズ治療・研究開発センター



うえむら はるか 上村 悠

医療情報室長・救済医療室長
専門：感染症、HIV感染症
資格・学会：日本感染症学会専門医
趣味：フットサル、音楽鑑賞

この4月よりエイズ治療・研究開発センターの医療情報室長、救済医療室長を拝命しました。全ての皆様が最良の医療を受けるために、皆様の声を大切に全国の医療者・関係者と共に患者参加型医療、薬害エイズ被害者救済に取り組んでまいります。お力添え頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

エイズ治療・研究開発センター



なかもと たかと 中本 貴人

ACC専門外来 / 医長
専門：HIV感染症・感染症、小児感染症
資格・学会：日本感染症学会専門医、日本小児科学会専門医 / 日本小児感染症学会認定医
趣味：散歩

この度2024年4月からエイズ治療・研究開発センター (ACC) の専門外来医長を拝命しました中本貴人と申します。ACCは首都圏を中心に多くの患者が通院されており、2022年12月時点で登録患者数5200名以上となっております。薬害HIV感染者はもちろん、すべてのHIV感染者の方々の健康や生活の質向上に寄与するよう取り組んでまいります。

第1回 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師

院内の安心・安全を創る 感染管理のスペシャリスト

専門看護師・認定看護師は、特定分野で活躍する「看護師のスペシャリスト」です。本企画ではそんな専門看護師・認定看護師を紹介します。第1回は「感染管理」です。

**病棟巡回や教育啓発で
感染管理を徹底する**

患者さんやご家族、お見舞いの方々、スタッフなど来院するすべての人を感染から守るために、当院では医療関連感染対策の専門知識を持つ医師、感染症看護専門看護師や感染管理認定看護師を含めた看護師、薬剤師、臨床検査技師などが集まって感染対策チームとして感染管理に取り組んでいます。

環境整備やサーベイランスを目的に、病棟を巡回し、感染患者さんの接触予防策など、現場での感染管理の実施状況を把握するほか、MRSA※1などの薬剤耐性菌※2の検出状況も確認・共有し、抗菌薬適正使用を推進しています。

さらに、院内各部門での感染管理の教育活動やコンサルテーション、さらには院内感染対策マニュアルの作成も重要な仕事の1つです。感染症看護専門看護師と感染管理認定看護師はこれら仕事を通じて、患者さんの安全な療養環境はもちろん、スタッフが安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。



1



2



3



4



5



6

1 手指消毒剤の設置や使用期限の確認 2 病室入り口の防護用具設置状況 3 4 点滴管理状況の確認 5 6 スタッフの防護用具着脱手順の確認 7 マニュアル遵守状況の確認 8 感染対策チームミーティング



7



8

※1:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌とは、抗生物質メチシリンに対する薬剤耐性を獲得した黄色ブドウ球菌
 ※2:治療に使う特定の種類の抗菌薬が効きにくい、または効かなくなった細菌。これが増えると、これまで抗菌薬を飲めば治っていた感染症が治りにくくなるなど、治療に影響が出ることがある



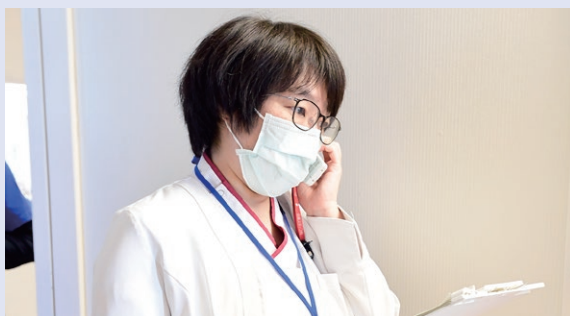
ほりい くみ
堀井 久美

副看護師長
感染管理認定看護師

細 菌やウイルスは目に見えないものだけに、感染管理については取り組みに

対する成果を感じにくい面もあります。その重要性を感じてもらうため、手の汚れを見える化するなど、現場の意識を高めるような工夫もしています。今後も感染管理に関する様々な活動を通してさらに質の向上に取り組んでいきたいと思

院内の感染管理に関する相談を受けています



くぼた しほ
窪田 志穂

副看護師長
感染症看護専門看護師
感染管理認定看護師

感 染予防や発生時の拡大防止などの感染管理は、院内全体で取り組む必要が

あります。私たちはその専門家として、的確な対応を行ってもらうための教育研修や啓発活動、病棟巡回はもちろん、使いやすいマニュアルの整備や手指衛生のための備品の選択など、スタッフが感染管理を実践しやすい仕組みづくりにも力を入れています。

病棟の看護師長とも情報共有を行います



NCGM医療連携の会

当 院は連携登録医の先生方をはじめ地域の医療機関の関係者との連携をより強化する目的で、令和6年6月10日(月)に「NCGM医療連携の会」を開催いたします。この会は、令和元年を最後にコロナ禍の影響で開催を延期しておりましたが、この度5年ぶりに対面開催となります。日頃ご紹介をいただいている外部の先生方とのface to faceでの意見交換をすることで、紹介・逆紹介をよりスムーズに行なうための非常に重要な会と考えています。また、当日は診療科長からのミニレクチャーも行う予定です。



▶お問い合わせ・お申し込みはこちらから

- 日時：令和6年6月10日(月) 19：30～(19：00受付開始)
- 場所：京王プラザホテル新宿
- 参加をご希望される方は、

E-mail : iryourennkei@hosp.ncgm.go.jp

までご連絡をお願いいたします。

※当会は医療従事者向けとなっております。一般の方の参加は出来ませんのでご了承ください。



siro46 - stock.adobe.com

■ 人間ドックセンターのご案内



長い歴史をもつ当人間ドックセンターは、その歴史と経験に基づき、お客様からの安心と信頼をいただいております。その期待にお応えできるよう全スタッフが心を込めてお迎えしております。施設内は広めのフロアでゆったりとしており、スムーズに検査を受けていただけることはもちろん、病院の専門診療科とも常に連携を取っており、ご病気が発見された際には、迅速に専門診療科へご紹介しております。

また当院の特徴として、胃と大腸の内視鏡検査が同日に行えるコースや専門診療科とタイアップしたコース、PET-CT 検査などの様々なオプション検査をご用意しており、皆さまの生活習慣や既往歴などに合わせて、ご自分でご自由にお選びいただけます。日帰りコースだけでなく、ご宿泊コースもご用意しており、お部屋からの夜景やお食事を楽しみながら、時間にゆとりをもって検査をお受けいただけます。



■ ご寄付のお願い ～医学研究の発展と優れた人材の育成のために～



当センターは、センター病院・国府台病院という2つの診療拠点に加え、研究所・臨床研究センター・国際医療協力局および国立看護大学校を擁し、高度総合医療を提供するとともに、特に感染症・免疫疾患ならびに糖尿病・代謝性疾患に関する研究・診療を推進し、これらの疾患や医療の分野における国際協力に関する調査研究および人材育成を総合的に展開しております。

当センターの活動を推進し、使命を十分に果たすためには、その活動財源を安定的・多面的に確保することが必要不可欠です。課せられたミッションを実現して国民の皆さまに成果を還元するための財源に関して、企業や個人の皆さまからの寄附によるご支援をお願いいたします。

何卒、当センターの寄附の趣旨にご理解頂き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



ご寄付のお願い



■ 診療時間

■ 外来診療時間 8:30～17:15

■ 初診受付 8:30～11:00

※休診日や完全予約制を設けている診療科もありますので、必ずホームページをご覧ください。



■ 患者支援アプリ導入のご案内

3月26日より、患者支援アプリ「Wellcne（ウェルコネ）」を導入いたします。お手持ちのスマートフォンにインストールし、登録のお手続きをいただくことで、診察待ちの状況や、外来の予約の確認などができるようになります。

- 診察待ち順案内が届きます ○アプリ決済（後払い会計）が可能
- 受診予約が確認できます ○院外処方箋の送信が可能です。
- 医療情報の確認が可能となります。



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
TEL 03-3202-7181 (代表)
<https://www.ncgm.go.jp/index.html>

■ 地下鉄をご利用の方

都営地下鉄 大江戸線 若松河田駅（河田口）から徒歩5分
東京メトロ 東西線 早稲田駅（2番出口）から徒歩15分

■ 都営バスをご利用の方

- 新宿駅から（宿74系統）医療センター経由女子医大行き「国立国際医療研究センター前」下車 徒歩0分
- 大久保・新大久保から（橋63系統）新橋行き「国立国際医療研究センター前」下車 徒歩0分
- 市ヶ谷・新橋から（橋63系統）小滝橋車庫行き「国立国際医療研究センター前」下車 徒歩0分
- 都営飯田橋駅前（C1またはC3）から（飯62系統）牛込柳町駅経由小滝橋車庫行き「国立国際医療研究センター前」下車 徒歩0分